

茅ヶ崎北陵高等学校 学校説明資料

ごあいさつ

校長 市川 道伸

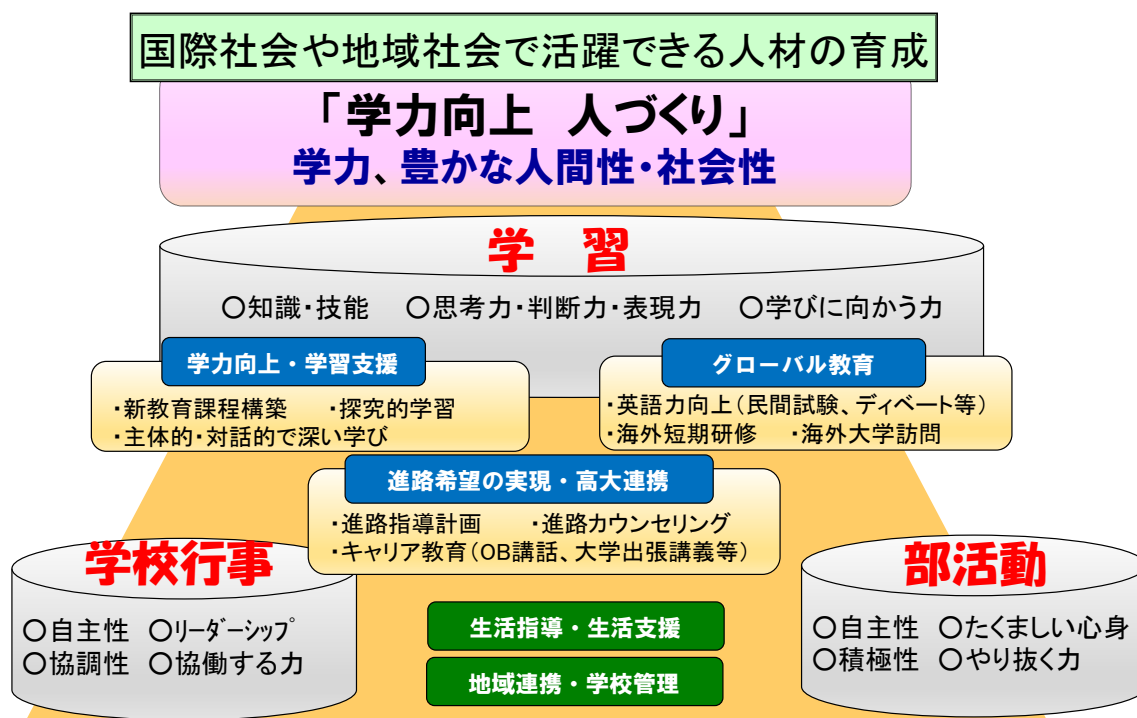
本日はご来校いただきありがとうございます。例年は体育館での学校説明会を2回実施しておりますが、今年度はウイルス感染防止のため、屋内での説明会はとりやめ、その代わり部活動体験・部活動見学、校舎見学など、学校を見学できる機会を増やし、ご来校いただいた際に、説明会でお伝えする予定だった内容を資料として配付することとしました。この資料のほか、学校ホームページでも様々な情報を発信しておりますので、どうぞご覧ください。

高校時代は、将来自分が進むべき道を見つける重要な時期であり、本校卒業生の野口聡一さんも本校在学中に宇宙飛行士になる気持ちを固めました。夢や目標を実現させるために大切なことは、自主的計画的な学習の積み重ねと、仲間と協力して何かを成し遂げる経験です。「大学に進学するために必要な学力」と「これからの社会を生き抜くために必要な力」をともに身に付けられるよう、本校では様々な教育活動を展開しています。資料をご覧になり、何かご不明な点などございましたら、学校までご連絡ください。

学校概要

- [創立] 昭和39年(1964年) 今年で創立57年目
- [課程] 学年制による全日制・普通科
- [学級] 1クラス40人 各学年7学級
- [校舎] 臨時新校舎で授業(全室冷暖房完備、食堂あり、洋式トイレあり)
体育や部活動は旧校地のグラウンド・体育館を利用
- [移転] 2002年(平成14年)校地で遺跡が見つかり、校舎建て替え計画中止
2006年(平成18年)臨時新校舎へ移転(現在、校舎移転先について県が交渉中)

茅ヶ崎北陵高等学校グランドデザイン(抜粋) 令和2年5月策定



学習について

＜これからの時代に必要となる資質・能力の育成＞

①知識・技能の習得 ②思考力・判断力・表現力等の育成 ③学びに向かう力・人間性等の涵養



「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点からの学習過程の改善

＜本校の学習について＞

○教育課程 → 3年間の教育課程表は「学校案内」をご覧ください。

- ・1年、2年は、全員共通の科目を履修し、基礎的な学力や幅広い教養を身に付けます。
1年の芸術科目のみ選択です。（音楽Ⅰまたは美術Ⅰ）
2年で文系・理系に分けることはせず、国公立大学受験などにも対応できるよう、幅広く基礎を固めます。
（大学では、文理融合の学部・学科も増えてきています。数学が苦手だから文系といった選択を早い時期にすると自分の可能性を狭めることとなります。）
- ・3年では、選択科目を多く設置し、多様な進路に応じて専門性の高い学習を行います。
文系・理系に分かれ、それぞれ必修選択科目と自由選択科目を設置しています。
希望する進路などに応じて科目を選択します。

○定期試験・実力テスト・学力診断テスト

- ・定期試験（前期・後期の中間試験・期末試験）に加えて、実力テスト、学力診断テストを実施しています。
実力テスト <1・2年> 11月・1月 <3年> 5月・8月・10月
学力診断テスト <1・2年> 4月・8月

○総合的な探究の時間、総合的な学習の時間

- ・これからの時代は、「知識習得学習」と「探究的学習」を両輪とする学習活動が重要です。

<1年> 年間を通してあらゆる場面で探究学習の4つのプロセスを繰り返します。

「①課題の設定、②情報の収集、③整理と分析、④まとめと表現」

<2年> 修学旅行を活用した探究学習（地域研究）を展開します。

<3年> 「討論型探究学習（ディベート）」を行います。

- ・与えられた論題について、賛成班・反対班が情報収集・分析を行い、お互いに論を展開して、周りの班がジャッジします。
- ・ディベートは、正解のない問いについて、身に付けた知識や情報をもとに様々な角度から考え、仲間と協働し、議論して課題を探究していく、これからの時代に必要となる重要な学びです。
→ 県教育委員会ホームページ「がっこう最前線」で紹介されています。

○少人数学習、習熟度別学習

- ・少人数学習（1年「英語表現Ⅰ」各クラス2分割） ・習熟度別授業（2年「数学Ⅱ」）

○夏季休業中の講習・補習

- ・補習としての講座、大学受験に向けての講座など、多くの講座が開講されます。

（令和元年度開講科目の例）

- | | | |
|----|---|------------------------------|
| 1年 | （国語）「助動詞の基礎を固めよう」「みんな大好き古典文法」「助動詞の応用に挑戦しよう」 | （英語）「英検対策講座」「Global English」 |
| | （数学）「数学ⅠA基礎講座」「数学ⅠA応用講座」 | |
| 2年 | （国語）「古典文法の基礎」 | （数学）「数学Ⅱ基礎」「数学ⅡB大学入試問題」 |
| | （英語）「英語基礎」、「英語上級」「英検対策講座（準2級、2級）」など | |
| 3年 | （国語）「センター試験対策現代文・古文」 | （数学）「センター試験対策数学ⅠA・ⅡB」 |
| | （理科）「物理問題演習」「無機化学センター演習」 | （英語）「英語入試対策演習」など |

○学習成果発表会

- ・年度末に体育館で、探究学習、インターンシップ、海外留学、大学受験体験などの発表を行います。

英語教育について

<これからの英語教育>

4技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）の育成が重要

<本校の英語教育の特徴>

○4技能の総合的な育成

- ・アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業
ペアワークやグループワークを積極的に導入して「話す・聞く」能力を育成します。
- ・PDA 高校生即興型英語ディベート
英語学習会の生徒が、即興型英語ディベートに取り組み、県や全国の大会に出場しています。
- ・イングリッシュ・セントラル
Web教材を導入し、インターネットを利用して英語の発音やリスニングなどを学習します。
- ・外部講師による4技能英語ワークショップ
4技能育成に向けて、外部講師によるワークショップを開催します。

○日常の授業の取組、大学受験への対応

- ・少人数学習・ALT（外国語指導助手）とのチームティーチング
1年生「英語表現Ⅰ」＝各クラス20名での授業。英語教員とALTによるチームティーチングも実施。
- ・夏期講習・補習の実施、学力診断テスト・実力テストの実施、入試問題分析・演習

○英語資格・検定試験の受験

- ・実用英語技能検定（準会場として校内で受験）… 10月の第2回1次試験を本校で受験
- ・GTEC… 1、2年生が1月に全員校内で受験。スコア型4技能試験。タブレット使用。
- ・その他の英語検定… TOEFL、TEAPなどの受験情報提供、個別相談

○グローバル教育

- ・フィジー海外短期留学（夏休み）
 - ・キニック・ハイスクールとの交流
 - ・クレアモント大学（アメリカ）次世代リーダー養成プログラム派遣
- ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、一部の行事を中止または変更して実施しています。

進路指導について

○進路実績 → 過去3年の主な大学の合格者数は「学校案内」をご覧ください。

進路第一志望「発見」に向けた取組

○社会人○BOG講話（1・2年生対象）

様々な分野で活躍している卒業生による講話
（大学教授、映画監督、看護師、歯科医師、海洋研究開発機構職員など）

○大学見学（1年生全生徒）

1年生全員が、国公立大学、私立大学を訪問・見学

○大学出張講義（1・2年生対象）

大学の先生を本校に招いて授業を行ってもらい、全員が大学の授業を体験

○インターンシップ、オープンスクール

夏季インターンシップ、大学のオープンスクールへの参加 → 進路意識醸成、進路選択・進路設計

進路第一志望「実現」に向けた取組

○ガイダンス、面談

・進路ガイダンス ・教育課程説明会 ・進路相談 ・保護者面談 ・保護者向け進路説明会（年2回）

○学力診断テスト（1・2年）、実力テスト（全学年）

・テスト実施後に結果を分析し、生徒への振り返り指導や、職員向けのガイダンスを実施

○講習・補習

・夏期講習 ・冬期講習 ・大学入試直前対策講座 ・個別補習

学力向上進学重点校エントリー校について

<学力向上進学重点校とは>

- ・将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる高い資質・能力を持った人材を育成する学校
- ・次の指標に基づく各校の取組の実績に応じて、教育委員会が重点校としての指定を行います。
アクティブ・ラーニングの視点による授業実践、高いレベルの思考力・判断力・表現力の育成、高い学力・高い英語力の習得、探究活動など教育活動全体での人間性・社会性の育成、いわゆる難関大学への現役進学率の高い実績。

<学力向上進学重点校の指定>

- ・すでに4校が重点校に指定されており、13校がエントリー校。今後順次重点校が指定されます。
学力向上進学重点校：横浜翠嵐、湘南、柏陽、厚木
学力向上進学重点校エントリー校：川和、希望ヶ丘、横浜平沼、光陵、横浜緑ヶ丘、多摩、横須賀、鎌倉、茅ヶ崎北陵、平塚江南、小田原、大和、相模原

<17校での取組>

- ・PDA 即興型英語ディベート交流会 ・探究活動生徒学習会
- ・クレアモント大学（アメリカ）次世代リーダー養成プログラム派遣 など

学校行事について

○学校行事で、目標に向かって仲間と協力して、何かをやり遂げる経験により、自主性、協調性、リーダーシップなど、様々な力を身につけることができます。

○主な行事（昨年度）

- 文化的行事：文化祭（9月）、合唱コンクール（3月 茅ヶ崎市民文化会館）
- 体育的行事：体育祭（5月）、球技大会（11月）、マラソン大会（2月 平塚競技場・総合公園）
- 旅行的行事：遠足（5月）、修学旅行（10月 沖縄3泊4日）

部活動について

○仲間とともに目標に向かって努力する過程で、自主性、責任感、連帯感などが涵養されるとともに、友情を深め、豊かな人間関係を築き、学習意欲の向上にもつながります。

○最近の主な結果（平成29年～令和元年）

- ・陸上競技部 女子4×400mリレー 関東大会8位（H29,30）、女子400m 関東大会5位入賞（H30）
- ・ソフトテニス部 関東大会出場 男子個人（H30）、県大会 男子団体5位（H30）女子団体5位（H29）
- ・卓球部 県大会 男子団体ベスト16（H29）個人ベスト16（R1）女子団体ベスト16（H29,30）
- ・野球部 選手権県大会3回戦進出、秋季大会3回戦進出（H29）
- ・サッカー部 インターハイ県予選 4回戦進出（H29）
- ・吹奏楽部 コンクール（高校A）湘南地区 金賞、県大会 銅賞（H29）
- ・美術部 黒板アート甲子園2019 審査員特別賞（R1）

地域連携について

○地域と連携した取組の推進

- ・防災イベント（学校周辺の地図を使ってグループで防災について考えるDIG研修を実施）
- ・非行防止教室（生徒会の生徒が近隣小学校で非行防止教室を実施。昨年茅ヶ崎市から表彰）
- ・北陵祭での地域飲食店出店（茅ヶ崎・寒川の飲食店が出店）
- ・遺跡関連行事（下寺尾遺跡文化祭に生徒がボランティア参加、生徒向け遺跡講話の実施など）

○部活動による地域イベントへの参加

- ・JRC部が、地域のイベントや夏祭りにボランティア、出店などで参加
- ・吹奏楽部が、大岡越前駅前コンサートや徳洲会病院祭に出演

令和3年度 茅ヶ崎北陵高等学校入学者選抜について

● 令和3年度入学者選考資料

- 1 「学習の記録」の各教科の評定（中学校から提出される調査書）
- 2 「学力検査」 5教科（英語・国語・数学・理科・社会）
- 3 「面接」
- 4 「特色検査」（昨年度から学力向上進学重点校エントリー校17校すべてで実施）

1 学習の記録（評定）

「中学2年の評定（5段階×9教科＝45点満点）」

「中学3年の評定を2倍したもの（5段階×9教科×2＝90点満点）」

※ 本校では特定の教科における評定の重点化は行いません。

} 合計 135 点満点

2 学力検査

英国数理社の5教科について、各教科50分の検査を100点満点で実施します。

※ 学力検査においても、本校では特定の教科における点数の重点化は行いません。

3 面接

面接は個人面接の形式で、約10分程度の時間で実施します。

面接の評価について、本校では次の5つの観点から評価します。

共通の観点

- ①入学希望の理由
- ②中学校での教科等に対する学習意欲
- ③中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲

学校ごとの観点

- ④高校での教科・科目等に対する学習意欲
- ⑤高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲

①から③の観点は、「共通の観点」としてすべての県立高校において設定されています。それらに加えて、本校では「学校ごとの観点」として④「高校での教科・科目等に対する学習意欲」、⑤「高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲」の2つの観点を加えた、5観点としています。

なお、面接では願書とともに提出する「面接シート」や中学校から提出される「調査書」を参考資料として使用します。本校の特色をよく理解するとともに、自分のよさをしっかりと伝えてください。

4 特色検査（自己表現検査）

特色検査には「自己表現検査」とスポーツや芸術などの「実技検査」の2種類がありますが、本校で実施するのは「自己表現検査」です。

<評価の観点>

次の4つの観点で評価します。この観点は学力向上進学重点校とエントリー校17校すべて同じです。

- ・論理的思考力・判断力・表現力
- ・情報活用能力
- ・創造力及び想像力
- ・科学的思考力・判断力・表現力

<特色検査の概要>

○提示された文章や資料を読み取り、中学校までに習得した知識・技能を教科横断的に活用して、問題を解決する思考力・判断力・表現力や創造力等を把握するための検査を行う。
○検査時間は60分とする。

検査の概要は、上記のとおりですが、特に「教科横断的」に「問題解決する力」というところがポイントです。出題される内容は特定の教科に関するものではなく、いくつかの教科の知識や技能を活用して答を導き出すことが必要です。このように聞くと難しい問題が出題されるのかと思ってしまうかもしれませんが、内容は中学校までの学習内容を超えることはありません。実技教科も含むすべての教科の勉強にしっかり取り組んだ人は、きっと正解にたどり着くことができるはずです。むしろ「特色検査がある方が自分には有利である」と前向きにとらえて、ぜひ積極的にチャレンジしてください。

<特色検査の解答方法>

令和2年度の特色検査からマークシート方式が導入されましたが、すべての問題がマークシート方式ではなく、記述式問題も併用となっています。また、マークシート方式の解答用紙は学力向上進学重点校およびエントリー校で共通のものを使用します。すべての解答欄を使用するのではなく、指定された問題について解答することになりますのでご注意ください。

過去に実施した問題は、県政情報センターにて一面10円で写しを取ることができます。

● 令和3年度入学者選考方法

1 選考の資料

「調査書」、「学力検査」、「面接」、「特色検査」の4つをそれぞれ100点満点に換算し、その数値を1次選考、2次選考で定められた比率（下表参照）で計算します。

選考の資料		調査書	学力検査	面接	特色検査
比率	第1次選考	3	5	2	1
	第2次選考		8	2	1

2 第1次選考

第1次選考では、募集人員の90%までを選考します。100点満点に換算した調査書、学力検査、面接、特色検査の数値をそれぞれ3倍、5倍、2倍、1倍して、1100点満点で資料を作成し、総合的に選考します。本校の選考は学力検査の比率が一番高くなっていますので、学力検査に向けた学習をしっかりと行うことが大切ですし、それが特色検査への対策にもなります。

3 第2次選考

第2次選考では、第1次選考で合格にならなかった方を対象に、募集人員の残り10%を選考します。100点満点に換算した学力検査、面接、特色検査の数値をそれぞれ8倍、2倍、1倍して1100点満点で資料を作成し、選考します。第2次選考においても学力検査の比率が高くなっています。

● 令和3年度入学者選抜の日程

学力検査	令和3年2月15日(月)	
特色検査	令和3年2月16日(火)	
面接	令和3年2月17日(水)	(どちらか1日)
	令和3年2月18日(木)	
合格発表	令和3年3月1日(月)	

令和2年度 部活動体験・部活動見学、校舎見学について

部活動体験・部活動見学 ※部活動見学については事前の申込は不要です。

- ① 10月10日(土) 部活動体験・部活動見学Ⅰ
- ② 10月17日(土) 部活動体験・部活動見学Ⅱ

受付時間：両日とも1回目は9：30から、2回目は13：30から受け付けます。

受付場所：運動部は本校旧校地内、文化部は本校臨時新校舎事務室前で受け付けます。

【部活動体験について】

- (1) 当日の部活動の活動状況や活動場所については、9月よりHPでお知らせします。
(大会やコンクール等と重なり、当日校内で部活動をしていない場合や、活動はしていても体験ができない場合があります。詳しい内容をHPで確認の上、参加を検討してください。)
- (2) 部活動体験は保険料が発生するため、事前の申込をお願いします。詳しくはHPを確認の上、HPより申込をしてください。

校舎見学 ※校舎見学については事前の申込は不要です。

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------|
| ① 10月23日(金) | 校舎見学Ⅰ | ④ 12月14日(月) | 校舎見学Ⅳ |
| ② 11月4日(水) | 校舎見学Ⅱ | ⑤ 12月17日(木) | 校舎見学Ⅴ |
| ③ 11月24日(火) | 校舎見学Ⅲ | ⑥ 1月18日(月) | 校舎見学Ⅵ |

受付時間：16：20から受け付けます。

受付場所：本校臨時新校舎事務室前で受け付けます。

【校舎見学について】

- (1) 所要時間は30～40分間です。
- (2) 臨時新校舎にて学習関係の施設を見学していただけます。
- (3) 臨時新校舎・旧校地・グラウンドにてその日に活動している部活動の様子を見学していただくことも可能です。見学を希望する部活動の校舎見学日の活動状況は、9月よりHPで確認してください。
また見学日の前日に活動状況をHPで最終確認の上、お越してください。

問合せ先 研究開発グループ 電話：0467-51-4993

ホームページ <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/chigasakihokuryo-h/> QRコード→

